

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対象学年	中学3年
------	------

領域	教科指導（理科）
----	----------

指導項目	DNA技術の発展の「よい面」と「悪い面」の存在を理解する
------	------------------------------

<u>情報モラル指導モデルカリキュラム</u>			
分野	安全への知恵		
コード	f4-2	指導事項	自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
指導のねらい	情報技術の発展とその利用について「よい面」と「悪い面」の存在を理解する。		

科目・活動との関連	技術の発達とその活用に関連づけて、情報技術についても「よい面」と「悪い面」の存在を知り、情報技術の利用について考えさせる。
利用教材（サイト）	OCN セキュリティ対策「第88回 悪意のあるアプリにご用心」 (http://secure.blog.ocn.ne.jp/column/2012/06/88_c371.html)

10分	学習の過程	指導法	指導の留意点
導入 (1分)	・情報技術にもよい面・悪い面がある事を知る。	・DNA技術同様、情報技術にもよい面・悪い面がある事を知らせる。	
展開 (5分)	・アプリ利用の注意点を知る。	・資料「第88回 悪意のあるアプリにご用心」を読む。	
まとめ (1分)	・今後のスマホの利用について考える。	・今使っている子は、今日から。まだ使っていない子は、今後手にしたら気をつけることを考えさせる。	・スマートフォンは便利だが、利用には十分な知識が必要であることを伝える。 (日常へのつながり)

子どもの反応	・スマートフォンのアプリに資料で示したような危険性があるとは知らず、今後の利用について気をつけようと思う気持ちが見られた。
実践の評価	・アプリについては手頃にインストールできるため、知らず知らずのうちに悪意のあるものをインストールしている危険性があるため、子どもたちが危険性について理解できたことがよかった。

指導のポイント

・今後、急速にスマートフォンが普及し、一人1台の所有が予想される。スマートフォン利用には、便利な面もあるが、危険な面もあるので、十分理解した上で利用させる必要がある。
